

# 令和元年度 第1回朝倉市地方創生会議 議事概要

## 1. 会議概要

|      |                                                                                                                                                                          |                          |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 日 時  | 令和元年9月18日（水）19：00～21：00                                                                                                                                                  |                          |
| 場 所  | 朝倉市役所 別館第1・2会議室                                                                                                                                                          |                          |
| 出席者  | 委 員                                                                                                                                                                      | 出席：9名<br>欠席：1名           |
|      | 朝 倉 市                                                                                                                                                                    | 市長、副市長、総務部長、事務局（総合政策課）4名 |
| 次 第  | 1. 開 会<br>2. 市長あいさつ<br>3. 委員紹介<br>4. 朝倉市地方創生会議について<br>5. 会長及び副会長選出<br>6. 会長及び副会長あいさつ<br>7. 議事<br>（1）第1期朝倉市総合戦略の取組と総括（中間）について<br>（2）第2期朝倉市総合戦略の策定について<br>8. その他<br>9. 閉会  |                          |
| 配布資料 | 朝倉市地方創生会議委員名簿<br>（資料1） 朝倉市地方創生会議設置要綱<br>（資料2） 朝倉市人口ビジョン<br>（資料3） 朝倉市総合戦略<br>（資料4） 第1期朝倉市総合戦略の取組と総括（中間）<br>（資料5） まち・ひと・しごと創生基本方針2019（国の方針）について<br>（資料6） 第2期朝倉市総合戦略の策定について |                          |

## 2. 議事要旨

### （2. 市長あいさつ）

- ・本市では、男女共同参画を推進するということで、多数の女性の参加をお願いしている。
- ・一昨年と昨年の災害、これからの復旧・復興と安全な地域づくりがハード・ソフトの両面で求められている。大変厳しい状況の中、市民の皆さんが“朝倉の発展”という着実に朝倉市の動きが見えることを強く求めている。地方創生に向けてのこの会議が大変大きな意味を持っていると思うので、皆様方のご経験、知恵、本市に対するいろんな思いを含めて貴重なご意見を戴きたい。よろしくお願いします。

### （5. 会長及び副会長選出）

- ・会長に濱崎裕子氏、副会長に伊藤睦人氏を選出。

### （6. 会長及び副会長あいさつ）

濱崎会長：第2次朝倉市総合計画策定時にまちづくり審議会の委員をつとめさせていただいたので朝倉市に対する理解も少しできていると考える。今回の地方創生に関してはどの

自治体も取り組んでいる。朝倉市地方創生会議は、いかにこの地域を活性化していくかということが大事なテーマになってくると思うので、会長として皆さんの意見を少しでも多くくみ上げるという立場で務めたい。ご協力の程よろしく願います。

伊藤副会長：被災地の松末の赤谷川流域は災害発生以前の世帯数の40%しか住民が地元に戻ってきていない。特に乙石川、小河内川流域については長期避難の認定を受けているので、人口ビジョンを基にいろんなことをするのは頭が痛い、市長から楽しんでやってくれということなので、皆さんの足手まといにならないように考えを述べたい。どうぞよろしく願います。

## (7. 議事)

### (1) 第1期朝倉市総合戦略の取組と総括（中間）について（資料2）（資料3）（資料4）

| 分野  | 委員名 | 意見・考え等                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 子育て | A   | 子育て支援センターやつどいの広場に来ている人は満足感がある。たくさんイベントがあり、多く学ぶことがあるが、子どもと向き合っていない母親がいることを心配している。楽しいだけでなく、どのように親子がつながり楽しいと思えるかという支援をしなくてはならない。転入での子育て家庭が安心した子育てができるような人間関係をつくることできる、何かをつくらないといけない。雨の日や夏休み、幼稚園に入れている家庭、育てるのが大変な子を持つ家庭は困るという意見を聞く。                                                                        |
|     | B   | 単発的にイベントをやっても、継続的な深いかわりのある親子関係をつくれていない、仲間作りができていない。お子様を預けるのも結構お金がかかる。                                                                                                                                                                                                                                  |
|     | A   | 保育の無償化も私は怖い。預けておけば誰かが育ててくれるという発想はまた恐ろしいことだ。<br>三世帯同居とあるけど、これを喜ぶ人はいるのだろうか。お嫁さんたちはとても意識していて、別棟で住んでいても挨拶に行かなければならない、義父母が出て行くときはガレージを開けたりと非常に気を遣いながら生活している。<br>子どもの泣き声に非常に敏感になっている社会で、祖父母世代が「泣いてもいいんだよ」「子どもは泣くもんだ」という空気を朝倉が出したら、あそこは子育てしやすいよとなると私は思う。<br>子育てする母親に「大丈夫」と声かけができる、安心を与えてお母さんが元気になるものが実現してほしい。 |
|     | B   | 子ども支援も大事だけど、親支援も大事だということである。                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|     | C   | 都会から若い世代が空き家を利用して移住してくるが、保育所の規定で就労がないと入所できない。12km離れた民間の施設に預けている例がある。戦略の中で具体的な項目を取り入れるべきだ。同じように就学前に子どもを保育所に入れたいが入れられず、市外へ転出する事例があった。親のニーズ、地域の要望に応えられる施策をしていくのが今後の課題だ。                                                                                                                                   |
|     | B   | 朝倉市の人口が増えることに関して、移住してくる若い世代は非常に貴重なので彼らのニーズをきちんと捉えて、細かく見ていく必要がある。移住者の子どもと地元の子どもが交流することがここに定着する大きなきっかけになると思う。先ほど意見が出た、この町で心が開放的に気持ちにゆとりを持って安心して育てられる実感が移住者に持ってもらえれば“子育てしやすいまち”ということで、定住に結びつくのではないかなと思う。                                                                                                  |
| しごと | D   | 定住するために仕事は大事だと思う。災害までは事業所従業者数は伸びているようだが、災害後は大幅に減ったのか？仕事がないと転出したり、他所の市町村へ働きに出て行ったりする。通勤が遠くても転出するので、市内で、住んで働き子育てをすることが完結できれば一番良いと思う。                                                                                                                                                                     |

| 分野    | 委員名   | 意見・考え等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| しごと   | E     | 災害後、仕事が出来なくて、廃業して、住むところがない。ボランティアは商工関係には入れないので、同業者や仕事関係者が自分の仕事を休んで、20 日位かかってどうにか正常の仕事ができるようになった。朝倉では操業できないから他所に工場を移転する方も増えている。その経営者もそこへ移住している。新規会員よりも廃業者が増えている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|       | B     | ボランティアが入れないのは社会福祉協議会等が民家の片付けに人は送るけれども、営業所や工場には送らないから、復興が進まず、廃業つまり諦めてしまうということか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|       | E     | 仕事関係よりも民家が優先なので、どこに聞いても自分たちで片付けた、最終的に片付けることができないから辞める方もいる。10 数トンある機械が流されて、事業所を移転した会社もある。ボランティアがどういう理由で事業所等に入れないのか私達には分からない。少なくとも商工会関係ではボランティアは入れない。ボランティアが派遣されないのは何故だろうと不思議に思う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|       | B     | 自宅を片付けながら勤め先を片付けないといけないのは余計に大変だ。行政はどのようにお考えか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|       | 事務局 1 | <p>ボランティアは発災後、4 日目から社会福祉協議会を中心として動き始めた。その後、しばらくして JA を中心として農業関係、水路や農地に入った土砂の撤去を始めた。商工業関係に営利等の理由から需要があるにもかかわらずボランティアが入っていないことは後々、商工会議所から話を聞いた。災害復旧支援が商工業者に対して手薄だった。県内の自治体と一緒に国等に要望し、中小企業支援となったものの、実際手にとるような答えになっていなかったのが現状だ。</p> <p>先ほど指摘があった事業所数について、市町村合併時は 1,000、商工会が 500 であった。年々、組合数や会員数が減り商工会議所がおそらく 900 強、商工会が 400 強となっている。特に、災害前に在った町工場はやはり再建が難しい。朝倉の方でも大きい工場に泥が入り、そこで再起ができなかった。杷木の工場を含め、数件の企業が近隣の自治体に移転した。河川整備の計画ができないことにはどうしようもなく、その土地で持ち直すことができなかった状況があった。</p> <p>ただ、数字だけで見ると有効求人倍率は、今 3.2~3.3 ある。雇用については職種を選ばなければ、有効求人倍率は高い位置を推移している。</p> |
| ひとの流れ | G     | 近隣の首長さんが「うちは人口が減らない。増えるまでは行かないけど減らない。自然減で亡くなる方も多いけれど、それを転入者が補っている。うちは福岡都市圏の一部なんだという風に思っている。」と仰った。行政の区分では福岡都市圏に入らないが、西鉄の朝倉街道駅まで車で 15 分もあれば着く。駐車場に車を置いて福岡まで通勤するのは楽なことだ。そこから 15 分、20 分離れた朝倉との福岡へ出る差がやはり違うと感じる。甘木鉄道をもう少し上手く使って、福岡都市圏や久留米に近いということを PR でき、便利にならないか考えたらいいのではないかなと思う。                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| ひとの流れ | B     | 朝倉市の中に働く場所をつくるのも大事だけれど、福岡や久留米に働きに行く人たちがここに住む。交通網の整備と人口増加、両方を考えながらやっていく必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 情報発信  | G     | マスメディアの活用について、資料の出展等に【商工観光課・人事秘書課】と並んでいるが、普通、どこの市町村も窓口は 1 つになっていて、そこを通してニュースリリースを送ってくる。朝倉市の場合は、商工観光課は庁舎が違う場所にあるのが影響しているのか、独自に送ってこられて人事秘書課からの資料提供が非常に少ない。本当はもっと色々詳しく知らなければいけないはずの復興推進室もきちんとしたリリースを送ってることが少ない。広報の部署に情報を集めなさいと言うぐらいの主導権が広報が取って、きちんとした情報発信というのをもうちょっと考えてもいいのではないかなと思う。                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 情報発信  | B     | 今以上に情報発信していかないと活性化しない。朝倉を知ってもらうことも非常に大事なポイントじゃないかなと思う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

| 分野   | 委員名 | 意見・考え等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 情報発信 | H   | <p>どの地方でもそうだが、厳しいと感じた。</p> <p>20 年前、ここで子育てを始めた時、なんて素敵なおところだろうと思った。川はある、風景もきれい、穏やかな空気が流れていて素敵だと思った。教育のことがあり、近隣市に転出したが、自分の生活を考えた時に、やっぱり朝倉で生活していきたい、大事にしたいものがたくさんあると思った。</p> <p>1 年半前にこちらで起業して、お店を経営している。</p> <p>気になるのが、情報が共有しにくいと感じている。お店を始めていろんな作り手さんと繋がりたいと知人に漏らすと、紹介されたのが A 市や B 市、C 市の方だった。朝倉にも個人の素敵な店や作り手が在る。情報がもっと共有されて繋がっていくと楽しいかもしれないという空気が地域に満ちてくると外から新しい人たちが入ってくるんじゃないかと思う。子育てのこともすばらしい取り組みがされているが、じゃあそれがどこでされているか、情報としてどのように出されているか、市報に載せているだけだ。ボランティアによく参加しているが、朝倉市で参加しようとした時、どこに行けば良いか情報が足りない気がした。</p> <p>朝倉市にお店はあるが、通過されているように感じる。もっと情報が共有されれば、どんどん元気になっていくと感じる。</p> |
|      | B   | <p>魅力発信が足りないと、移住者にも色々情報共有というものが大事だということである。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

(2) 第 2 期朝倉市総合戦略の策定について (資料 5) (資料 6)

| 分野           | 委員名 | 意見・考え等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域連携         | I   | <p>皆様のお考えを経済的な視点から考えると、近隣の地方との面という観点で、地域ごとの役割があると思う。周辺地域の自治体との情報交換の場等をつくって、面で捉えて活性化、底上げを図っていく戦略も必要ではないかと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                        |
|              | B   | <p>朝倉市周辺も含めた広がりのある近隣との連携を図っていくことが経済活性化するというご意見だと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 地域資源<br>情報発信 | D   | <p>久しぶりに原鶴温泉に入り、気持ち良いと感じた。ぬるぬるして良い温泉だと思った。そのようなせつかく資源があるにもかかわらず、あまり情報が発信されていない。行っても閑散としている、誰も居ないという雰囲気である。先ほど意見が出たように情報発信が下手だ。朝倉街道から、経路があって、一番端っこには温泉がある。資源があるのに伝わっていない、その先にある県外の温泉街に人が行ってしまふ。関係人口の話があったが、関係する方が増えれば「朝倉はほんとに良いところ」と周知されるようになってくるのではないかと思う。もったいない気がする。</p>                                                                              |
|              | B   | <p>素晴らしい地域資源をもっと他の人が知れるように発信するということだ。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|              | J   | <p>資料 3 に朝倉らしい取組と書いているが、JA では、朝倉農業高校跡地に総合選果場を建設し現在稼働している。その横にハウスを建てトマトを栽培している。そこで新規就農者の募集をかけたが都合や病気で断念され、今は JA が栽培している。のぼり旗を設置し 386 号線を通る方に少しはアピールできたかと思う。そうしないと、その場所に買いに行っても良いか分からないし、販売しているのかも分からない。どんな活動、事業においても PR は大事だと思う。先程も言われたように、情報を発信していないと私も思う。「フルーツといえば A 市」だといわれがっかりする。情報は大事だと思う。JA と市が一体となって発信していけば良いと思う。自社に専門委員会もあるのでそこでも発信をしていきたい。</p> |
|              | B   | <p>総合戦略の中の新しい取組についてのご意見だ。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| ひとの<br>流れ    | D   | <p>資料 6 について人口が減った原因に関して分析しているのか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|              |     | <p>(事務局回答) 社会減が大きい。補うのにあたる自然増が追いついていない。参考資料 2 の 2 頁の人口動態の推移を見ると、自然減が多い。若年層の転出が多い。出生率が上がったとしても子どもの数の絶対数が少ないという状況がある。そういうわけで年々人口が減ってきている。これが、まず考えられる第 1 の原因である。他にも分析を進めて原因を特定していく必要がある。それを今年度検証していく話になっている。よろしくお願いします。</p>                                                                                                                               |

| 分野        | 委員名 | 意見・考え等                                                                                                                                                                                             |
|-----------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ひとの<br>流れ | D   | 若年層が出て行く、転出が多いと説明があったが何故出て行くのか。いろんな原因があると思う。その辺りの分析があるのか、ないのか。                                                                                                                                     |
|           |     | （事務局回答）朝倉市に高校が3つあるが、大学に進学する際、久留米や福岡等に出て行く。転出者のうち全員が戻ってくる現状に無い。高校生に第2次総合計画を作るときにアンケートを取ったが、遊ぶ場所が無い、大学を作って欲しいという率直な意見が出た。どうやって解消していくのか、1期から2期に移行するにあたり視点を変える必要がある。はっきりとした分析ではない、見込みだということをご理解いただきたい。 |
|           | B   | これからも分析を深めていく予定じゃないかと思う。                                                                                                                                                                           |

## （8. その他）

（副市長あいさつ）

- ・積極的な意見を沢山いただき、長時間にわたり感謝する。
- ・Aさんより人間関係の実感が少ないという意見があった。自治体が料金を下げていく、サービス拠点を増やしていくのは限界がある。実感コミュニケーションをカバーしていくのが重要であると実感した。
- ・KPI で肝心の指標が悪いものが多かった。それが関係しているとご指摘を受け止めさせていただいた。
- ・リリースの機会が少ない。PR が下手だと私も同じような印象を持っている。下手というよりおそらく奥ゆかしい。災害に関連した会議に積極的にカメラを入れているが、朝倉市がこういうことを警察、自治体とやっているという市民の方に伝えられる。そのようなことをPR していかななくてはならないと課題として認識している。うきは市や久留米市は非常に効果的にPR している。彼らに負けずに、また、ある場面では連携しながらやっていきたいと思う。
- ・人口減少問題は危機的状況にあると思う。人口減少対策は人口争奪戦の様相に入っていると思う。朝倉はピンチがチャンスに変わる場面も出ている。しっかりと取り組んで参りたいと思うので、引き続きご意見を頂きたい。よろしくお願いする。

## （9. 閉会）

以上